

病床機能の現状等についての アンケート結果概要

【注】

この資料に掲載している平成 29 年度病床機能報告に基づく数値（平成 29 年 7 月 1 日現在の病床数等）は、いずれも標記アンケートの実施時に把握したものです。

確定値ではありませんので、ご注意ください。

1 和歌山保健医療圏構想区域における病床の現状

「病床機能の現状及び今後のあり方等に関するアンケート」

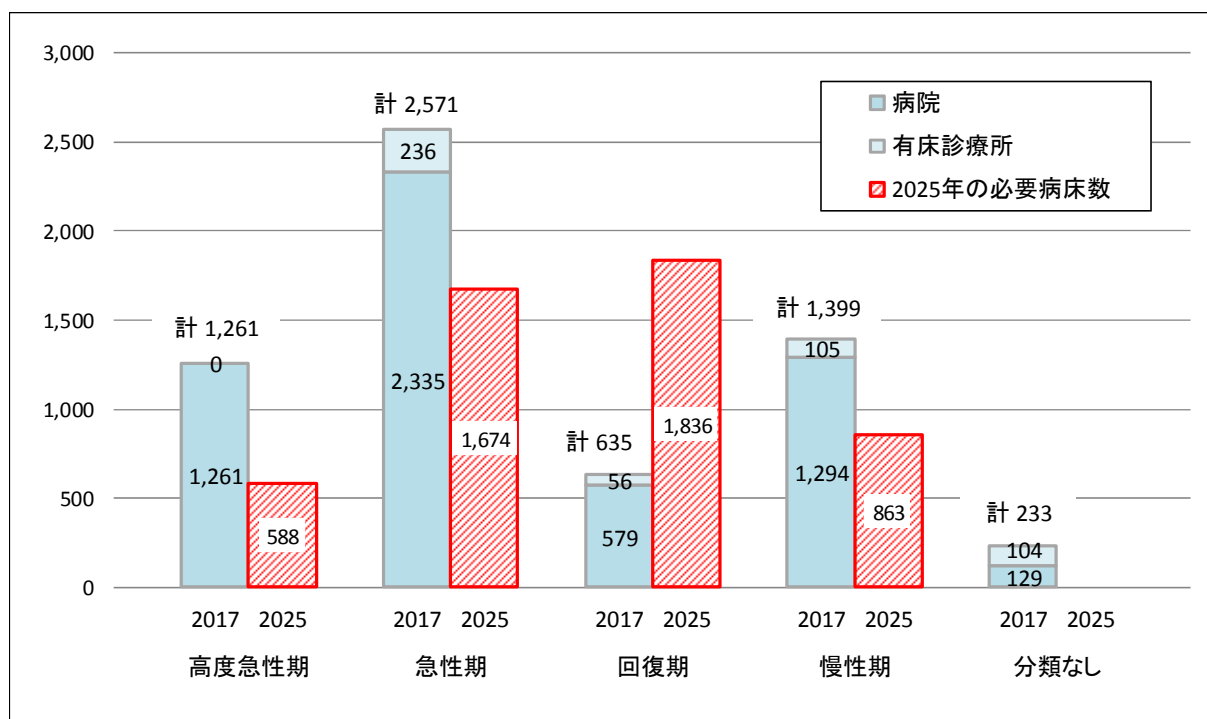
＜実施期間＞ 平成 29 年 10 月～12 月

＜対 象＞ 病 院 … 40 施設（和歌山市 34、海南地域 6）
有床診療所 … 33 施設（和歌山市 29、海南地域 4）

※ 平成 29 年度病床機能報告の「報告様式 1」を同時提出

■ 病床の現状（平成 29 年 7 月 1 日現在）

- ・ 許可病床数 …………… 6, 099 床
（病院 5, 598 床、有床診療所 501 床）
- ・ 前年度（確定値）との比較 … +25 床



	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
病 院	1,261	2,335	579	1,294	129	5,598
有床診療所	0	236	56	105	104	501
合 計	1,261	2,571	635	1,399	233	6,099
必要病床数	588	1,674	1,836	863		4,961

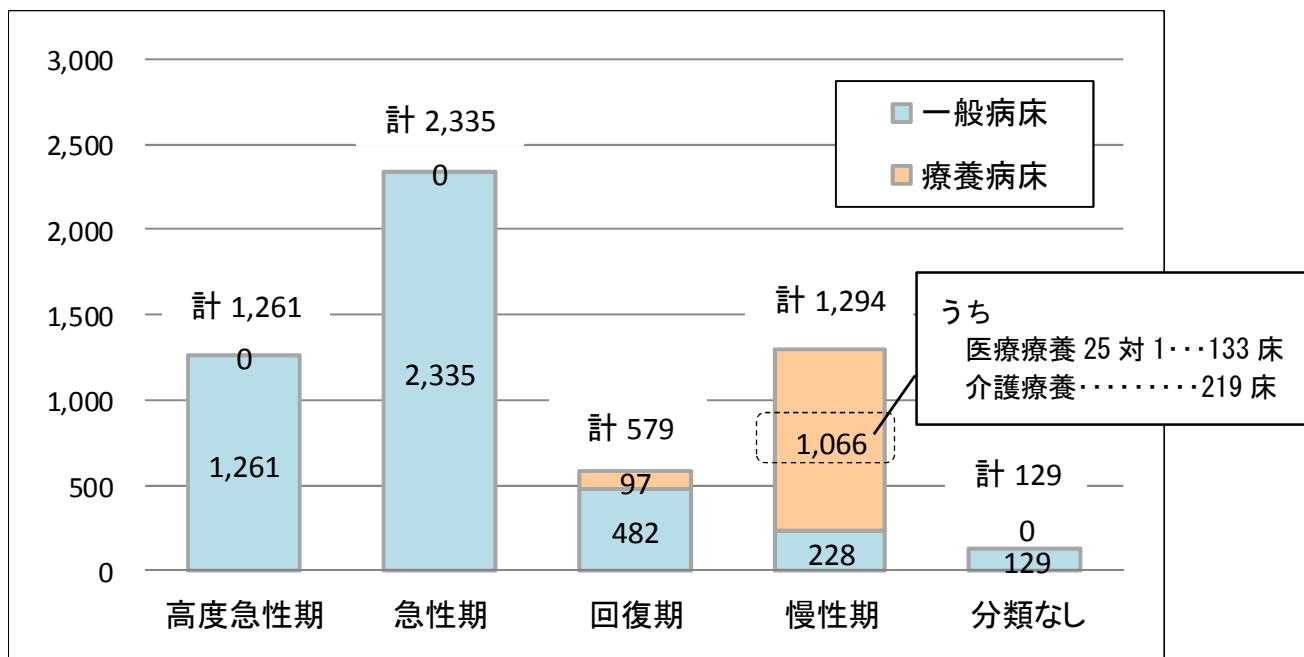
2 病院の機能別病床数等

■ 病院の現状（平成 29 年 7 月 1 日現在）

病 院 数 … 40 施設（和歌山市 34、海南地域 6）

許可病床数 … 5,598 床（前年度（確定値）との比較 ±0 床）

■ 機能別の病床数（平成 29 年 7 月 1 日現在）



	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
一般病床	1,261	2,335	482	228	129	4,435
療養病床	0	0	97	1,066	0	1,163
合 計	1,261	2,335	579	1,294	129	5,598

■ 機能別の病床稼働率（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
病床稼働率	84.4%	78.2%	80.9%	85.1%	0.0%	81.6%
(参考) 必要病床数算出における稼働率	75.0%	78.0%	90.0%	92.0%	—	—

（注）各病院の回答の加重平均により算出

3 病院の現状（稼働状況など）

■ 稼働状況（平成 29 年 7 月 1 日現在）

許可病床数 5, 598 床

└> うち非稼働病床数 252 床

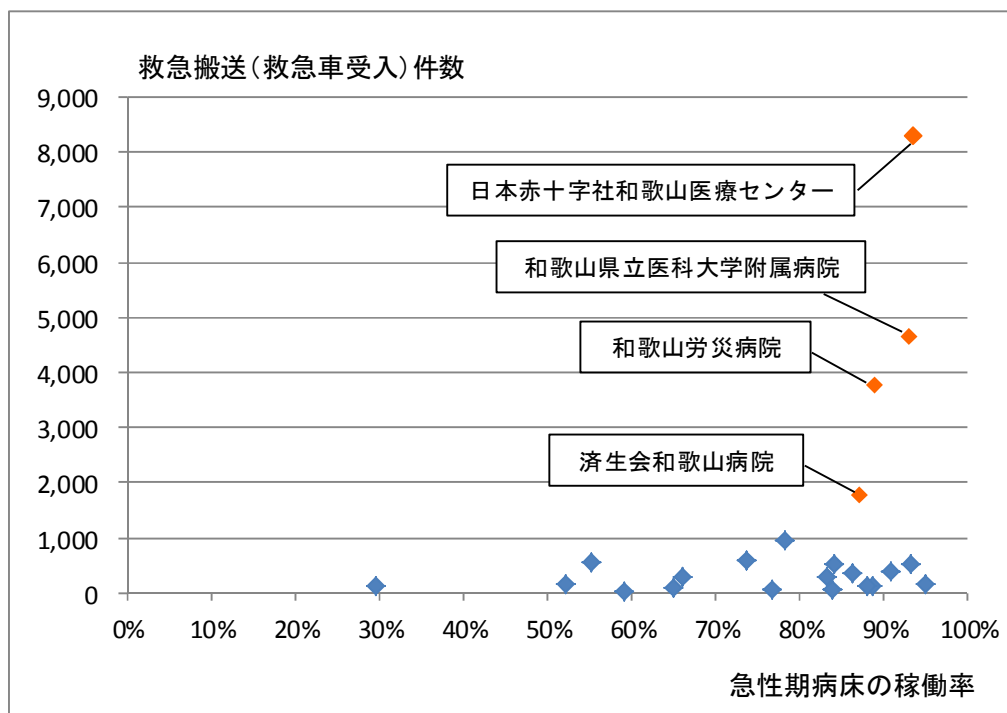
└> うち病棟単位での非稼働に係るもの 129 床
(2 施設)

日本赤十字社和歌山医療センター（3 病棟）
谷口病院（1 病棟）

■ 救急対応の状況（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

構想区域内の救急告示病院（急性期病床を有する 22 施設）における 1 年間の救急搬送（救急車受入）件数は、公的病院がその多くを占めている。

また、「救急搬送が多いほど急性期病床の稼働率が高い」という関係は見られない。



▲救急搬送件数と急性期病床稼働率との相関図（救急告示病院）

■ 今後の方向性（予定）

病床機能の転換（一部病床の機能転換を含む）に係る方向性は、アンケート実施時点では以下のとおり。

急性期 ▼ 回復期	慢性期 ▼ 回復期	慢性期 ▼ 介護医療院	現状維持 (注)	計
4 (10.0%)	4 (10.0%)	1 (2.5%)	31 (77.5%)	40

(注)「診療報酬の改定を見てから検討開始」は、本表では「現状維持」に分類

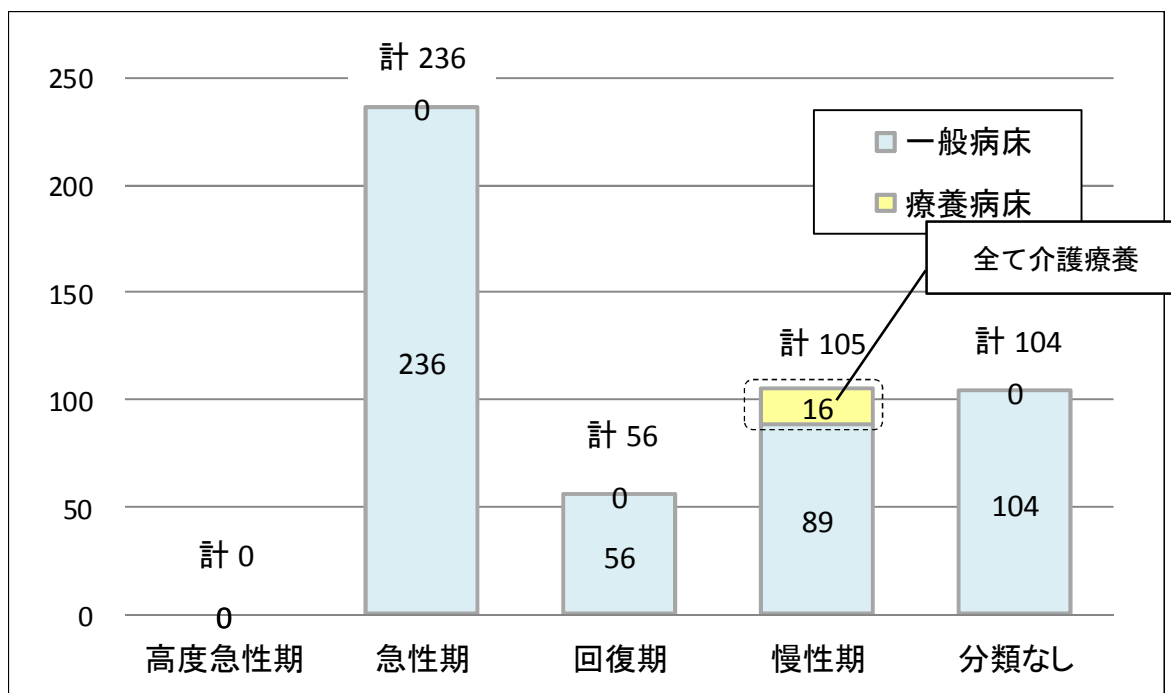
4 有床診療所の機能別病床数等

■ 有床診療所の現状（平成 29 年 7 月 1 日現在）

有床診療所数 …… 33 施設（和歌山市 29、海南地域 4）

許可病床数 …… 501 床（前年度（確定値）との比較 +25 床）

■ 機能別の病床数（平成 29 年 7 月 1 日現在）



	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
一般病床	0	236	56	89	104	485
療養病床	0	0	0	16	0	16
合 計	0	236	56	105	104	501

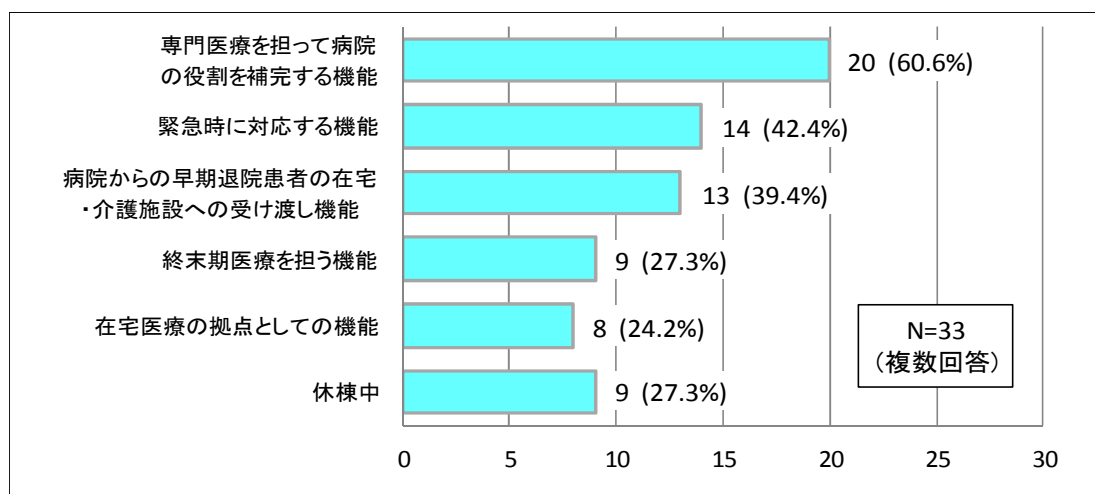
■ 機能別の病床稼働率（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
病床稼働率	0.0%	57.0%	76.2%	59.6%	0.0%	60.5%
（参考）必要病床数算出における稼働率	75.0%	78.0%	90.0%	92.0%	—	—

（注）各有床診療所の回答の加重平均により算出

5 有床診療所の現状（稼働状況など）

■ 有床診療所の担う役割（平成 29 年 7 月 1 日現在）



■ 稼働状況（平成 29 年 7 月 1 日現在）

全体の約 2 割の病床（108 床）が、診療所単位での非稼働により、1 年間に 1 人の入院患者も受け入れていない状況

許可病床数 501 床

↳ うち非稼働病床数 138 床

↳ うち診療所単位での非稼働に係るもの 108 床

（10 施設）

タナカ眼科、吹上クリニック、眼科松本クリニック、瀧口レディースクリニック、かわばた産婦人科、山口整形外科、塩崎医院、前田外科、青木整形外科、佐々木産婦人科医院

■ 病床稼働率の状況（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

稼働率が 80% を超える診療所が 8 施設ある一方で、全く稼働していない施設（10 施設）や、稼働率の低い施設も見られる。

病床稼働率	0%	0.1～20%	21～40%	41～60%	61～80%	80%超	無回答	計
有床診療所数	10	4	2	2	6	8	1	33

（稼働率の計算式 = H28. 7. 1～H29. 6. 30 の 1 年間の在院延べ患者数 / 許可病床数 × 365）

■ 今後の方向性（予定）

病床の稼働していない施設では「未定」、稼働中の施設では「現状維持」が多数を占めたが、病床廃止の可能性に言及した施設も見られる。

病床が稼働していない10施設			病床稼働中の23施設		計
病床廃止の可能性あり	病床再開の可能性あり	現時点で未定	病床廃止の可能性あり	現状維持	
2 (6.1%)	1 (3.0%)	7 (21.2%)	1 (3.0%)	22 (66.7%)	33